

24時間地域巡回サービスのイメージ



潟上、にかほ市の福祉事業者

24時間サービス提供

潟上、にかほ市の福祉事業者が014年度から、介護保険制度に基づいた「24時間地域巡回サービス」を県内で初めて開始する。ホームヘルパーや看護師が高齢者宅を1日複数回訪れて食事支援や排せつ介助など身の回りの世話をし、緊急時には夜間も駆け付け、24時間サービスは12年4月に国が導入したが、採算面を懸念する事業者も多く、全国的に普及が進んでいない。

来年度 介護保険制度で県内初

24時間地域巡回サービス
 正式名称は定期巡回・随時対応型訪問介護サービス。対象は要介護者。サービス提供業者が利用者の自宅を1日複数回訪問し、介護・看護を行う。業者と利用者をつなぐ直通電話

24時間サービスは施設から在宅介護への移行を促し、住み慣れた地域で暮らすことを後押しする狙い。12年度介護報酬改定の目玉として導入された。普及が進まない背景には、昼夜問わず対応できるスタッフの確保が難しいほか、担当エリアが広い地方では経費が掛かり増しになることなどがある。

県長寿社会課は「本県の場合、冬は積雪で高齢者宅を巡回しづらいこともあり、業者が参入を躊躇うようしているのではない」と話す。

潟上市昭和の社会福祉法人正和会(小玉敏夫理事長)は、6月から同市内を対象にサービスを提供する。建設中の特別養護老人ホーム内に事務所を開設。日中は職員3人が、夜間は特養のスタッフが対応する。利用者の日常生活を広くサポートすることから、職員は経験豊富な人材を充てる方針だ。

などを設置し、緊急時も対応する。国は2013年度末までに2033の市町村などでの実施を見込んでいたが、昨年12月末時点で184に止まっていた。

(高橋尚義)

正和会によると、実際のニーズが把握できないため、具体的な運用方法は今後詰めるほか、採算面でも不安があるという。サービスに乗り出す

にかほ市院内では、4月上旬オープン予定の総合介護福祉施設「ハルモニア」にかほ(佐藤明施設長)がサービスを行う。対象地域は同市内と由利総合建設業・二共(にかほ市安倍秋一社長)のグループ会社で、昨秋設立された三光メディケア(同市、斎藤敏洋社長)が運営する。



発行所 秋田魁新報社
 〒010-8601
 秋田市山王臨海町1番1号
 ©秋田魁新報社 2014年

のは、高齢者が増え、施設への入所が難しくなるとみられるため。正和会の林次男看護師は「在宅介護の重要性は増す。今のうちに24時間サービスの基盤を整えておきたい」と語る。